



令和 5 年 4 月 11 日 (火) 例会 (第2868回) 報告 (晴) No.2696

出席率 …… 30/39 76.92% 第2866回補正出席率 …… 35/40 87.18%

欠席者 定秀、中村、浜田(一)、平岡、堀田、松井、村山、鷺澤、渡邊(冬)

出席免除 足立、木村、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 三輪昌輝 会長

いよいよ残り3ヶ月。RC行事にすべて参加し駆け抜けたいと思います。さて先日、大山寺の阿弥陀堂で座禅をしました。忙しい日々の中の贅沢な時間でした。その際「娑婆の知恵」と「仏の知恵」という法話を聞きました。例えば幼い兄弟がケーキを分け合う場合、「娑婆の知恵」では兄が2つに切り、それを弟が選ぶというやり方です。喧嘩も起きにくく良い方法だと思えます。一方「仏の知恵」では、兄は弟に先に好きなだけ食べさせ、残りを自分が食べる分け方だそうです。この方法ではきれいに半分とはなりません、お互いを思いやる心が生まれ禍根が残らないということです。娑婆の知恵ではズルをする人が生まれる可能性があり、仏の知恵では慈悲の心が成就するのだというお話でした。

◆パスト会長時間 川田一郎 パスト会長 (2015-16年度)

所有者不明土地問題を未然に防ぐ為、「相続登記の義務化」が来年4月から施行。これにより相続から3年以内に登記申請が必要となり、正当な理由なしに申請しなければ10万円以下の過料になります。その他にも、相続した土地の「国庫帰属法」、「所有者不明土地管理制度」等新たな仕組みもできました。仕事柄の新しい制度のご紹介でした。



《新入会員バッジ授与式》

新入会員 角田 祐道(かどた ひろみち)さん
事業所 NX境港海陸株式会社
役職 代表取締役社長
生年月日 昭和37年6月21日(60歳・寅年)



◆幹事報告 赫 太郎 幹事

◎友末G事務所より「月信第10号」「国際大会Gナイト案内」
◎クラブ協議会案内配布 ◎次週(4/18)は休会(定款)

◆理事会報告 赫 太郎 幹事

【議題】①ボウリング大会事業案[審議]→承認 ②夜話集会事業案[審議]→承認 ③Rの森清掃と懇親会事業案[協議]→再検討し5月理事会に審議案提出 ④豈プロジェクト米子公演名義後援[審議]→承認

4月誕生日祝い

2日 浜田一哉 20日 津田純司 27日 浜田貴稔
3日 川田一郎 26日 中木啓文 各会員



出席表彰

連続1年 島谷一憲 会員



— スマイルBOX —

◎誕生祝 川田、津田、中木、浜田(貴) ◎出席表彰 島谷 ◎角田さん、入会おめでとうございます。喜多村、小林、柴田、瀬戸、松本(正) ◎IMの報告をします 庄司 ◎倉吉でのIM、良かったです！来年は米子であります。皆様の参加お願いします。赫 ◎IM報告、楽しみです。黒田 ◎早退します 中田 ◎スマイルに協力 北國、松本(勝)

◆委員会報告

◎情報委員会…北國恵久 副委員長
5/8~13「第2回夜話集会」。皆様ご参加お願いします。

◎親睦委員会…岡空晴夫 委員長

4/15: 米子RC70周年コンペ。頑張りましょう!

◎「ロータリーの友4月号」紹介…友森昌幸 雑誌・広報委員

— プログラム — 「合同IM報告」

基調講演「次世代の青少年像」

鳥取県副知事 亀井一賀氏

報告: 庄司尚史 PG



昨年、小林G補佐・境港RC主管でIMを開催したのは記憶に新しいところですが、今年には倉吉東RCが主管で廣田G補佐が担当され、4年ぶりの懇親会つき開催。境港RCからは7名の参加でした。基調講演の講師は、鳥取県副知事の亀井一賀氏で、パワーポイントを使って具体的な施策の説明がありました。

平井知事の「子育て王国」宣言で子育てしやすい環境づくり、I・U・Jターンの促進を図り、現在、移住者数は全国トップクラス。青少年健全育成条例制定後、若者の県外流出は減少傾向である。高校生には様々な成功体験をさせるプログラムの提供に努めている。

●次世代高校生育成事業 ●令和新時代創造県民運動などがある。県内就活の取り組みとして就活対策アプリ「とりふる」の活用、インターンシップ、就活サポーターの任命などで強化を進める。仕事と暮らしのパッケージで「顔の見えるネットワーク」をアピールしたいと述べられました。

記念講演「エネルギーから経済を考える」

(株)鈴廣蒲鉾本店 取締役相談役 鈴木悌介氏

報告: 赫 太郎 幹事

地域でエネルギーに取り組むべき理由として、3つの課題を挙げられました。

①気候変動 ②地域でお金を廻す ③エネルギーコスト



この内、特に③について強く語っておられました。日本では現在凡そ20兆円位の原油を輸入しており、この内の1割を、輸入原料から国内の更には地元の原料を使い、電力の地産地消を目指せば地域にお金が還元され、地域の経済が廻るようになり、日本も元気になると語られました。エネルギー危機の現在だからこそ、変革のチャンスであり、そのチャンスに対応するため、エネルギーの全体像を見て、省エネを実行し、再生可能な地産地消のエネルギーを利用する事を勧めています。現実に小田原で「ほうとくエネルギー」を地元経済界等からの出資を受け設立し実証されています。

講演の中で印象に残った言葉を、最後に紹介します。「ふる里は未来から借りているもの。少しでも良くして返そう」

今回(4月25日)プログラム

「境港の未来の女孫が幸せに暮らせるまちづくり」(同)ふるさと魅力デザイン研究所 代表 山崎裕浩氏

次回(5月2日)

休会 (定款7条)

次々回(5月9日)プログラム

「(仮)将棋のお話し」 柳浦 正明氏